

平成28年1月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成28年1月21日（木） 14時00分～16時38分

II. 場 所 ステーションコンファレンス東京 サピアタワー6階

III. 出席者 徳久学長、赤田、有馬、犬養、加賀見、香藤、黒木、島田、銭谷、西堀、船橋、正宗、中谷、松元、安村、猿渡、堀、酒井、宮崎、山本、金原各委員

がざー 桑古監事
(欠席者：河田、武藤、渡邊各委員)

IV. 前回審議議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項

1. 第3期中期目標・中期計画（原案）について

中谷理事から、資料に基づき説明があり、続いて、猿渡理事から予算、施設・設備に関する計画等について、安村理事から人事に関する計画について説明の後、審議の結果、承認された。

2. 人事院勧告対応案について

猿渡理事から、資料に基づき説明の後、審議の結果、承認された。
主な意見は以下のとおり。

- 人事院勧告に即して給与を改定していくというのが、本来あるべき姿だと思うが、現状を考えると、できるだけ人事院勧告に即した内容で、将来的には人事院勧告どおりに改定を行うという措置をとらざるを得ないではないか。
- 今回の地域手当の段階的な見直しは、あくまで緊急避難的な対応であって、各施策が所期の目的を達成し、また、大きく上回って達成した場合は、遡って対応するという考えを示してはどうか。

VI. 報告事項

1. 平成28年度政府予算（案）等について

猿渡理事から、資料に基づき説明があった。

2. 第3期中期目標期間における教員人事計画（案）について

安村理事から、資料に基づき説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- 収入を得るために、キャンパス内に駐車場を作ったり、コンビニやスーパーを誘致してテナント料を稼ぐなどの施策を打っていくべきではないか。
- 教育のレベル、教員のレベルを落とさずに目標を全うして欲しい。

- 大学の収支バランスのための施策であることを体系的にまとめてビジュアル化し、大学の方向性が職員全員にわかるような形で明示し、特に今年や来年については、非常に厳しい状況であるが、全員で一緒に改革に取り組んでもらいたいという一体感を生み出すやり方をし、どういうことが実現できれば人事院勧告に追いつくことができるかを共有できれば、かなり説得力があるのではないかと。
- 機能強化経費として各種のグローバルな計画を立てていることや、成田空港がある千葉県の立地を考えると、国際的な研究大学として進んでいくということがもっとも望ましい方向だと思うので、それに資する人員の再配置を強力に進めていくということを夏合宿までの間に議論すると良いのではないかと。
というのも、インド、エジプト、東南アジアの国々で、日本の存在意義が下がってきていると感じるが、研究や教育に対する期待はとて高く、留学生や研究者の交流を望んでいる。そういう国際貢献ができるような受け入れや派遣、教職員の配置を積極的に打ち出した方が良いのではないかと。

以上